

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	法人全体で、実習生の受け入れやボランティア受け入れなど地域との活動を行っている。ホームとしての取り組みには至っていない。	×
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議には、利用者・家族・役場担当者・地域代表・職員等が出席している。3か月に1回の開催であるために、基準を満たしていない。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	役場へ書類提出時には足を運び、担当者に相談することがある。また、役場は法人事務所に来る機会が多いので、ホームにも情報が入りやすい環境である。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	年に一度、併設の特別養護老人ホーム・ケアハウスの利用者家族を含め、全体での家族会が開かれている。家族会では、収支報告・意見交換・食事交流会を行い、利用者家族の生の声を聞く環境を作っている。また、毎月家族へのホーム通信が発行されている。利用者個々に近況報告や連絡事項を作成して、利用者の日常が遠方の家族にもわかるように取り組んでいる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

今まで、法人厨房で作っていた食事を「食事に楽しみを作りたい」との思いから、介護職員が毎食作ることに変更している。利用者も職員と一緒に食事を作り、やりがいを感じるにつながっている。廊下や入口スペースに、利用者の心こもった作品が並べあり印象的である。法人共有スペースには、図書コーナー・売店・喫茶やカラオケ大会など、催し物が多くホームの利用者も気軽に参加できる。特別養護老人ホームから、友人が行き来することもあるために交流が多く、法人全体が1つのコミュニティとも考えられる。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。